

様式第2号（第8条関係）

平成30年12月 7日

白老町議会
議長 山本 浩平 様

白老町議会議員 吉谷 一孝 印

派遣成果報告書

日時（期間）	自 平成30年11月12日（月） 至 平成30年11月16日（金） 4泊5日
目的地	鹿児島県大崎町、霧島市 宮崎県都城市、日南市
調査事項	住民生活の環境改善に向けて ① 大崎町 循環型地域づくり・人口減少対策 ② 都城市 財政健全化対策 ③ 日南市 人口減少対策 ④ 霧島市 議会運営
視察の成果 （具体的に）	別紙のとおり

※ 必要の都度、写真その他を付加して、研修効果が現れる工夫をする。

〔視察の成果〕

鹿児島県 大崎町

循環型地域づくり「リサイクル率日本一のエコシステムについて」

鹿児島県大隅半島に位置し、農業が盛んな自然豊かな町「大崎町」。人口約 14,000 人の町であるが、資源ごみリサイクル率 83.4%を達成し、11 年連続日本一のなった大崎町に視察研修を行った。

大崎町には焼却炉がなかったため埋め立て処分を行っている。しかし、15 年間使用予定だった処分場の満杯時期が試算より大幅に早まる恐れが出てきたことから、三者択一に迫られた。



（↑大崎町の埋め立て処分場）

焼却炉にシフトするか、それとも新たな処分場を作るのか、今の処分場を長持ちさせるか？ ここで、大崎町は分別して再資源化を図り、埋める廃棄物の量を減らすリサイクルの道を選んだ。

この活動を始めて、埋める廃棄物の量は 80%も軽減され、もともと 15 年間使用予定だった処分場は、今では 40 年～50 年は使用可能になったと説明を受けた。



(↑大崎町の各地で月1回実施される資源ごみリサイクルのための分別収集)

大崎町は行政と企業、そして住民の協力でリサイクル活動を行っているが、一番の強みは住民の皆さんの働きであると説明を受けた。

住民の皆さんが地区ごとに『衛生自治会』をつくり、立会い活動を行いながら、意識高く共生協働で分別活動を続けています。町民の協力あって、ゴミステーションに出した時点からそれはゴミではなく、資源となることを学んだ。

人口減少対策

- ・子育て支援定住促進住宅（借上型）
- ・定住促進住宅整備事業「シャルム文化通」（PFI方式）

このマンションの建設は、民間事業者が建設した優良な賃貸住宅を大崎町が借り上げ、子育て世帯に対して安価で転貸することで、子どもを安心して育てる事のできる環境づくりを支援し入居者の将来における大崎町への定住を促進することを目的に建設していた。



■シャルム文化通の外観

家賃については2LDK44,000円と3LDK48,000円となっており、子育て世帯にはとてもよいと感じた。

白老町にあった大きさや家賃の住宅があると子育て世帯に需要があると感じた。

宮崎県都城市

財政健全化対策 ふるさと納税の特徴と仕組みについて

都城市ふるさと納税にかかる平成29年度寄附金は、「約52万3千件、約74億7千万円」になり、日本一になった平成28年度を上回る多くの御寄附額になっている。

○「肉と焼酎のふるさと・都城市」の対外的なPRを目的としている。

・お礼の特産品は、550種類中、肉301種類、焼酎129種類、その他120種類で、平成26年10月のリニューアル当初から方向性を変えず、「肉」と「焼酎」を中心に市をPRしている。

・平成29年4月の特産品は378種類であったが、2カ月に1回の割合で見直しを行い、新たに578種類を加えるとともに、受付件数が伸び悩んだ406種類を受付停止し、現在550種類を取り扱っている。お礼の特産品は都城産を原則としているため、ほぼ100%、地元に還元している。



しかし、問題は還元率である。白老町は還元率を総務省の指示に従い30%を超えない内容になっているが、都城市は80%もの還元率になると伺った。寄付金を財源に事業を行うというよりは、都城市という知名度をあげるという事を目標に掲げているので、白老町の事業目的との違いがあり、同じ様に寄付金額だけを目標にすることが出来ないと思った。

今後、都城市も還元率を30%にしていくと伺った。そうなったときに今の様な寄付額が集まるかは難しくなるように思った。



都城・島津邸

宮崎県 日南市

人口減少対策 飢肥地区 食べあるき・町あるきマップについて

飢肥城下町保存会では、飢肥城の観光に来ていただくお客様に、飢肥城及び城下町のすべてを満喫していただくために「あゆみちゃんマップ」～飢肥城下町『食べあるき・町あるき』～という企画を準備して観光客の受け入れをしている。これは、観光客に九州の小京都「飢肥の城下町」を散策しながら、地元の美味しい食べ物や手作りの商品等をもらい、飢肥を味わいながら、買い物や町あるきを楽しんでもらうというものである。



日南市の市外局番は0987です。	
1 駐車場販売所 飢肥城下町保存会 9:00~16:30 10:30~17:00	2 オビダラー 飢肥城下町保存会 9:00~16:30 10:30~17:00
3 カフェ・しゃんぐり 大門口 10:00~17:00 (女・子・生・徒)	4 服部亭 10:00~14:00 10:30~16:30
5 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	6 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
7 銘菓飢肥せんべい 10:00~16:00 10:30~17:00	8 銘菓飢肥せんべい 10:00~16:00 10:30~17:00
9 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	10 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
11 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	12 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
13 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	14 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
15 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	16 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
17 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	18 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
19 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	20 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
21 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	22 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
23 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	24 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
25 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	26 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
27 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	28 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
29 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	30 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
31 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	32 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
33 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	34 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
35 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	36 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
37 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	38 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
39 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	40 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
41 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	42 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
43 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	44 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
45 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	46 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
47 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	48 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30
49 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30	50 田元おひ天本舗 10:00~16:00 10:30~17:30

白老町は、2020 年 4 月に国立博物館開設に向けどのように観光客を受け入れ町内を周遊し滞在時間を長くして白老町の魅力を感じて頂くようにしなければならない。そこで、今回の食べあるき・町あるきマップを参考に白老版「食べあるき・町あるきマップ」考えることも必要だと感じた。



飢肥城



飢肥の街並み

鹿児島県 霧島市

議会改革 タブレット議会について

鹿児島県霧島は、鹿児島県の中央部に位置する人口約13万人の観光・農業・工業のマチ。2005年に国分市、姶良郡溝辺町・横川町・牧園町・霧島町・隼人町・福山町が合併して広域市として発足した。「平成の大合併」の自治体がそうであるように霧島市も旧7市町住民に対する情報の共有問題を抱えていた。今回の導入のきっかけは、設備の老朽化と、補修部品の製造中止などで修理・保守が難しくなっていて、更新は急務であった。また、議場内スピーカーによる発言者の声を傍聴席が聞きづらいといった課題があった。



導入の効果

音声鮮明になったことで、音声自動翻訳システムを利用し、迅速に会議録作成を行うことができるようになったことや、議案の採決がスムーズになった。採決は従来、起立した議員数を目視して行っており、確認に時間がかかることもあった。タブレットのタッチによる採決では、結果が即座にデジタルで表示される。可視化が進みより透明性の高い議事運営ができるようになったともいえる。一方で、タブレット操作を議員さん同士でレクチャーしあうなど、議員間のコミュニケーションには一躍買っているようだ。また、資料をタブレットに提示することで、グラフや表の数字など必要な範囲を自身で拡大して視ることもできるため、活用の幅は広がっている。さらに、事務局として議会運営の省力化も実現した。従来、事務局スタッフ4名が、カメラ、テロップ、録音にあたっていたが、現システムでは2名で運営できている。こういったところの省力化も欠かせないところである。

今回の視察研修をおえて

初日の移動日以外は、すべて研修を行いとても充実した道外視察になりました。すべてが白老町に置換、実行できるものばかりではなかったが白老版にアレンジして行うことのできる可能性があるものも多かったと感じました。視察先で感じた事は、共助・公助の関係がうまくかみ合って事業が成功しているのだという事です。課題を明確に捉え解決に向けて、どのように行政が住民理解と協力を得るのが大切な事だと思いました。



桜島